

第 10 回中部 MIST 研究会ハンズオンセミナーに参加して

IMS グループ 医療法人社団 明芳会 高島平中央総合病院
放射線科 木本 克樹

私は診療放射線技師 5 年目になり、脊椎手術のイメージを担当し始めて 4 年が経ちました。今回、MIST 研究会のホームページでコメディカル対象のハンズオンセミナーがあると知り、自分が術者の体験をすることでイメージのスキルアップができる良い機会であると考えたので参加しました。

ミニレクチャーでは、最初に PPS について講義を受け、PPS と従来の方法の比較、PPS の手順の説明を受けました。ワンショットの話聞いたことで、診療放射線技師として更なる被ばく管理の徹底を行う事を心掛けようと考えました。続いて、LIF についての講義では OILF、XLIF の違いや、体位取りの大切さ、手技手順の説明を受け LIF での安全性にイメージが大きな役割を担っていることを改めて感じました。

ハンズオンセミナーでは、XLIF、PPS の手技について、先生やメーカーの方々に指導を受けながら、普段触ることができない実際の器械を扱う貴重な体験をすることが出来ました。直前のミニレクチャーでの講義内容と合わせて器械の説明を受けたことで、より理解が深まったと思います。XLIF では、手技手順を追いながらイメージ画像を写真で見せて頂き、どのようにすれば器械がお手本のイメージ画像のように映るかを考えながら進めることができました。PPS では、実際に自分が術者の立場になると模型が見えているのにスクリーンを入れるのを苦戦してしまい、改めて椎弓根や終板などをイメージで正しく合わせないといけないと実感することができました。

体験することによって、普段疑問に思っていたことや、分からなかったことを聞くことで解決し、術者がどのような場面でイメージを必要とし、どこに注意を払いながら手術を進めているかを理解しました。また、自分の技術について考える良い機会となりました。

今回、参加させていただいたことで、脊椎手術が低侵襲になるにつれてイメージの正確さを求められていると実感し、チームの一員として手術に参加するにあたり必要最低限の被ばく線量で済むように管理していこうと強く思いました。

最後に、貴重な学びの機会を与えていただきました MIST 研究会ならびに関係者の皆様に感謝致します。またの機会を心待ちにしております。ありがとうございました。

